

リンガルバーが使える人たち

- ① 歯肉縁から口腔底までの距離が7~8mmある
- ② 大きな下顎隆起がない
- ③ 下顎前歯を抜歯する予定がない
- ④ 顎堤の傾斜が緩くない
- ⑤ 顎堤吸収が激しい両側の遊離端欠損でないひと
- ⑥ 残存歯の舌側傾斜が強くない

リンガルバーが使える人

- ① 歯肉縁から口腔底までの距離が7~8mmある
- ② 大きな下顎隆起がない
- ③ 下顎前歯を抜歯する予定がない
- ④ 顎堤の傾斜が緩くない
- ⑤ 顎堤吸収が激しい両側の遊離端欠損でない人
- ⑥ 残存歯の舌側傾斜が強くない

この要件を満たさない人は

リンガルプレート

リンガルバーが使える人なんだけど、顎堤吸収が著しい両側遊離端欠損の人

- ケネディーバー+リンガルバー
- もちろんリンガルプレートもOK

とはいっても...

- あくまで定義
- 教科書には両側遊離端欠損じゃないけど
- ケネディーバー+リンガルバーの義歯は載っているし
- 実際、臨床でもケネディーバーはなかなか見ないです

残存歯が著しい舌側傾斜

外側バー